



## 皮膚科

### スタッフ紹介

- 医長 石川 博士 1997年にはじまり4回目の長崎医療センター勤務。専門分野：あえて“皮膚科”→なんでもみます。皮膚癌もアトピーも乾癬も膠原病の皮疹も帯状疱疹も。
- 医師 冨野 千愛 昨年レジデントからスタッフに昇格しました。勤務3年目になります。パワフルに外来、病棟業務をこなしています。

### ～ “革命” が皮膚科の世界では再び起こっています！ ～

革命の1回目は1950年代のステロイド外用剤の登場でした。湿疹、皮膚炎群の疾患に非常に有効であることは皆さん、ご存じのとおりと思います。

10年くらい前までは当科でも、常に、重症アトピー性皮膚炎と重症の乾癬の患者さんが1人ずつは長期入院されていましたが、最近はずっかりみなくなりました。みなさん外来治療でコントロールできるようになっています。そのわけは・・・

#### 革命その1：アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は皮膚バリア障害による乾燥肌、強い痒みとそれに伴う搔破、慢性反復性の皮膚炎です。したがって、治療の主体は保湿剤の外用によるバリア障害の修復と、ステロイドなどの外用により速やかに炎症をおさえることにあります。重症例はシクロスポリンなどの免疫抑制剤も使用できましたが感染症のリスク、腎障害、高血圧症などの副作用や、投与期間に制限があるなどの問題がありました。詳細はアトピー性皮膚炎診療ガイドラインをご参照下さい。一般の方もインターネットで見れます。

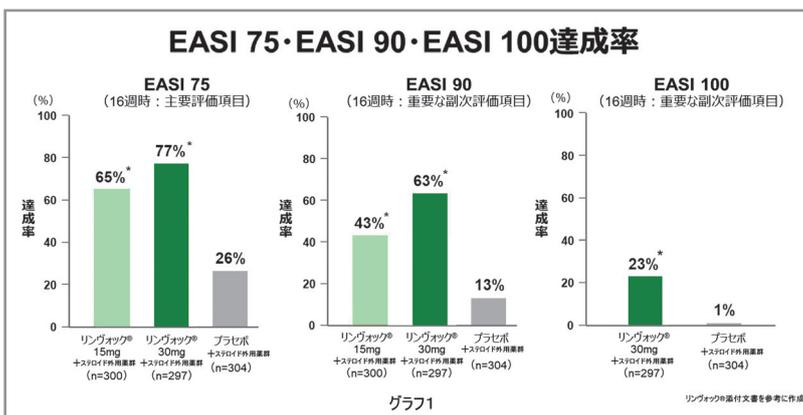
実は筆者もアトピー性皮膚炎の患者として50年以上、皮膚科医として25年以上たちますが、“アトピーは治らない”、といわれてきました。なかなか皮膚症状の寛解に至るのは難しい疾患でした。

しかし、生物学的製剤：デュピルマブ（ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体）や、JAK阻害剤のバリシチニブ、ウパダシチニブ（リンヴォック®）登場で“革命”が起こりました。EASIクリア（皮疹の完全寛解）が、ウパダシチニブの倍量投与で20%を超える患者さんで見られるというデータがでてきました（グラフ1）。ガイドラインに従って、保湿剤、ステロイド外用などの従来の治療で難治な症例に適応があります。

特筆すべき特徴は、投与から数日で痒みが著明に減少することです。重症アトピー性皮膚炎の患者さんは痒くて眠れず、家事や仕事、学業などの社会生活が困難となる例が散見

されます。痒みから開放された穏やかな生活や、悩みのもとであった赤ら顔が治って、お化粧が楽しめる“普通”の生活を取り戻すことが期待できます。

デュピルマブは結膜炎がよくみられる副作用ですが点眼剤の使用でコントロールできることが多く、重篤な副作用が起こることは稀ですので、大村市内でも皮膚科開業クリニックでも多数の症例で処方されています。JAK阻害剤はまだ使い始めたばかりですので、感染症などの副作用のスクリーニングや投与後管理もふくめて基幹病院におまかせ下さい。



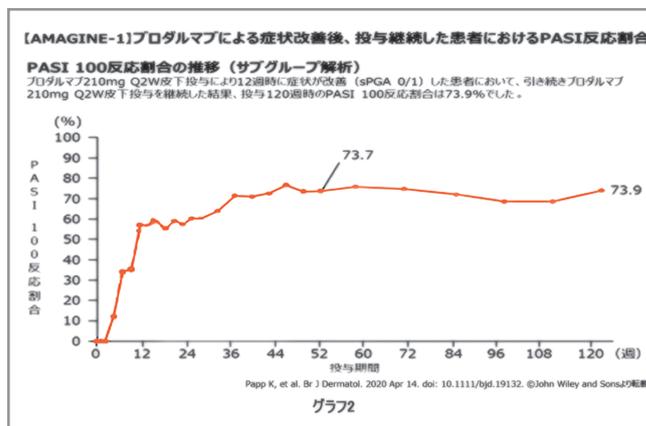
## 革命その2：尋常性乾癬、関節症性乾癬

これらの疾患も、ステロイド外用、紫外線照射などの、非常に根気のいる治療しかありませんでした。免疫抑制剤のシクロスポリンも適応となり、より症状コントロールがよくなりましたが寛解にまではなかなか至りませんでした。

そのために治療からドロップアウトしてしまう患者さんたちがいらっしゃいました。「塗れば良くなるけど、やめたらすぐぶり返して、きりがいい・・・」と。

そういう患者さんにも“革命”が起こりました。生物学的製剤（抗ヒトTNF $\alpha$ 抗体製剤、IL-17抗体製剤、IL-23抗体製剤）、JAK阻害剤の登場です。PASIクリア＝乾癬の皮疹の100%改善が70%を超えています（グラフ2）

最近のIL-17製剤、IL-23製剤は改良が進み、副作用もほとんどないといってよいほど使いやすいものとなりました。もちろん、投与前のスクリーニング、投与開始後の管理は必須ですが。



当院で印象的な症例を経験しました。

10年ほど前に、治療にうんざりしてやめてしまった男性がいらっしゃいました。別の疾患で入院されたことをきっかけに、「新しいよか治療のあると？」と、受診されました。

生物学的製剤を開始されて数ヶ月後、全身にみられていた紅斑、鱗屑はほぼ消えて、「10年ぶりに半袖を着たよ！」と笑顔で診察室に入ってこられました。

“いい時代になったなあ”、と嬉しく思いました。しかし、その患者さんから、お叱りをいただきました。「こんな良かものあるんやったら、どうして教えてくれんやったらね？。他の患者にも教えてやらんば!!」と。

今、皮膚科の治療で再び “革命” が起こっています。

重症のアトピー性皮膚炎、重症の乾癬の患者さんにお伝えしたい。

“いい時代になった”、と。